

島根県土木部砂防課 再評価対象事業

⑤ 寄居谷川 通常砂防事業

(再評価実施後5年を経過している継続中の事業)

～ 土石流とは ～

一気に流れ出す
土石流



渓床・溪岸を浸食し、巨石を巻き込みながら、さらに大規模な土石流となった。



直径数メートルクラスの岩がいくつものところがつっており、これが家屋を直撃して被害をより大きくしたとみられる。

～ 平成9年 布勢川(旧平田市)の土石流災害 ～

豪雨 平田で土石流



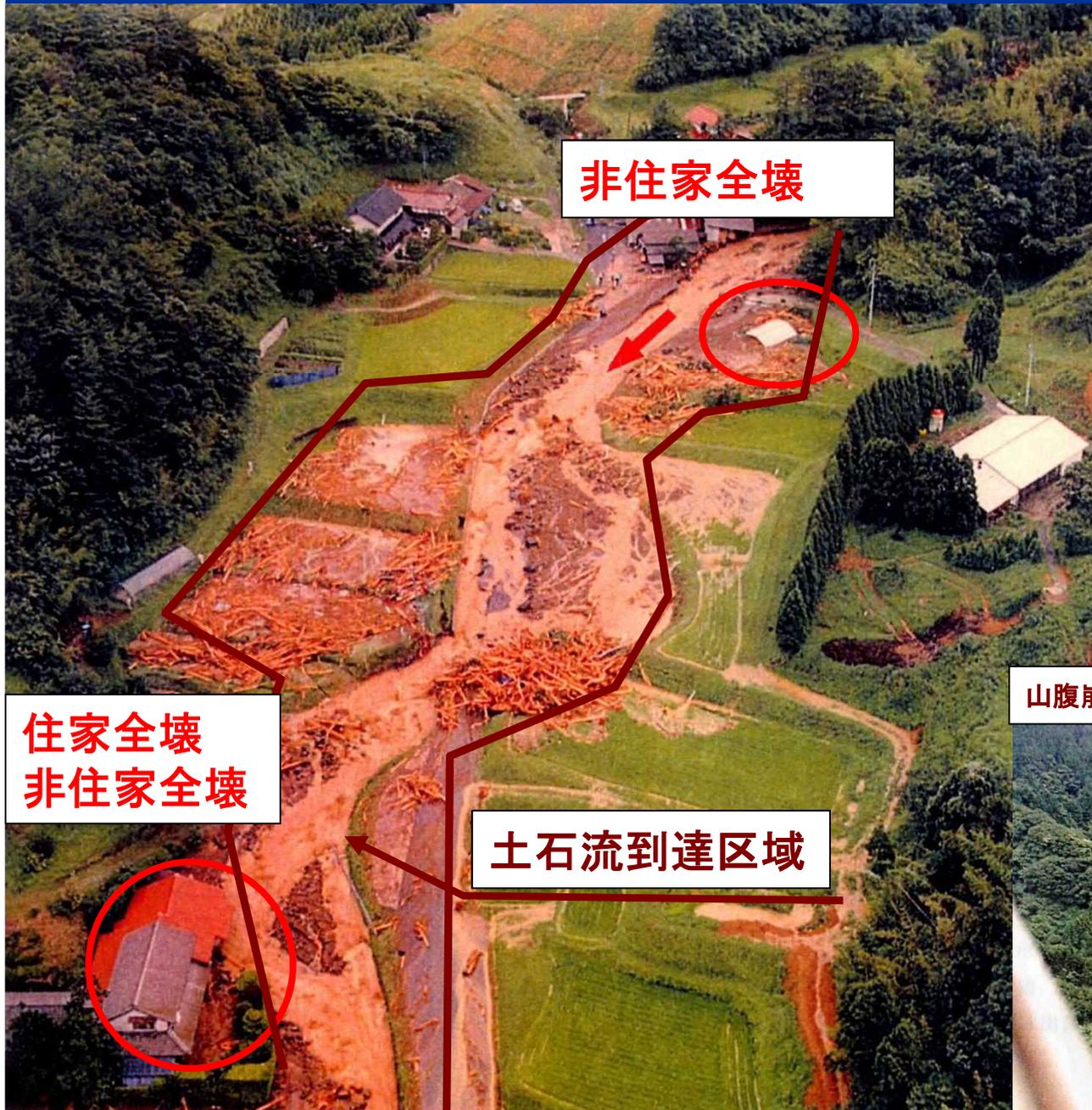
民家全半壊 125人避難
県東部で浸水相次ぐ

無雨前夜から豪雨となり、山腹崩壊が相次ぎ、県東部各地で浸水相次ぐ。平田市の布勢川で、土石流が発生し、民家全半壊125戸、125人が避難した。また、布勢川沿いの田舎で、土石流が発生し、民家全半壊125戸、125人が避難した。また、布勢川沿いの田舎で、土石流が発生し、民家全半壊125戸、125人が避難した。

洪水が押し寄せ、コンクリートの壁も壊れ、瓦が飛び散り、土砂が溢れ出た。布勢川沿いの田舎で、土石流が発生し、民家全半壊125戸、125人が避難した。また、布勢川沿いの田舎で、土石流が発生し、民家全半壊125戸、125人が避難した。

午前六時からの豪雨で、山腹崩壊が相次ぎ、県東部各地で浸水相次ぐ。平田市の布勢川で、土石流が発生し、民家全半壊125戸、125人が避難した。また、布勢川沿いの田舎で、土石流が発生し、民家全半壊125戸、125人が避難した。

午後八時十分ごろ発生した土石流は、布勢川沿いの田舎で、民家全半壊125戸、125人が避難した。また、布勢川沿いの田舎で、土石流が発生し、民家全半壊125戸、125人が避難した。



非住家全壊

住家全壊
 非住家全壊

土石流到達区域

山腹崩壊状況

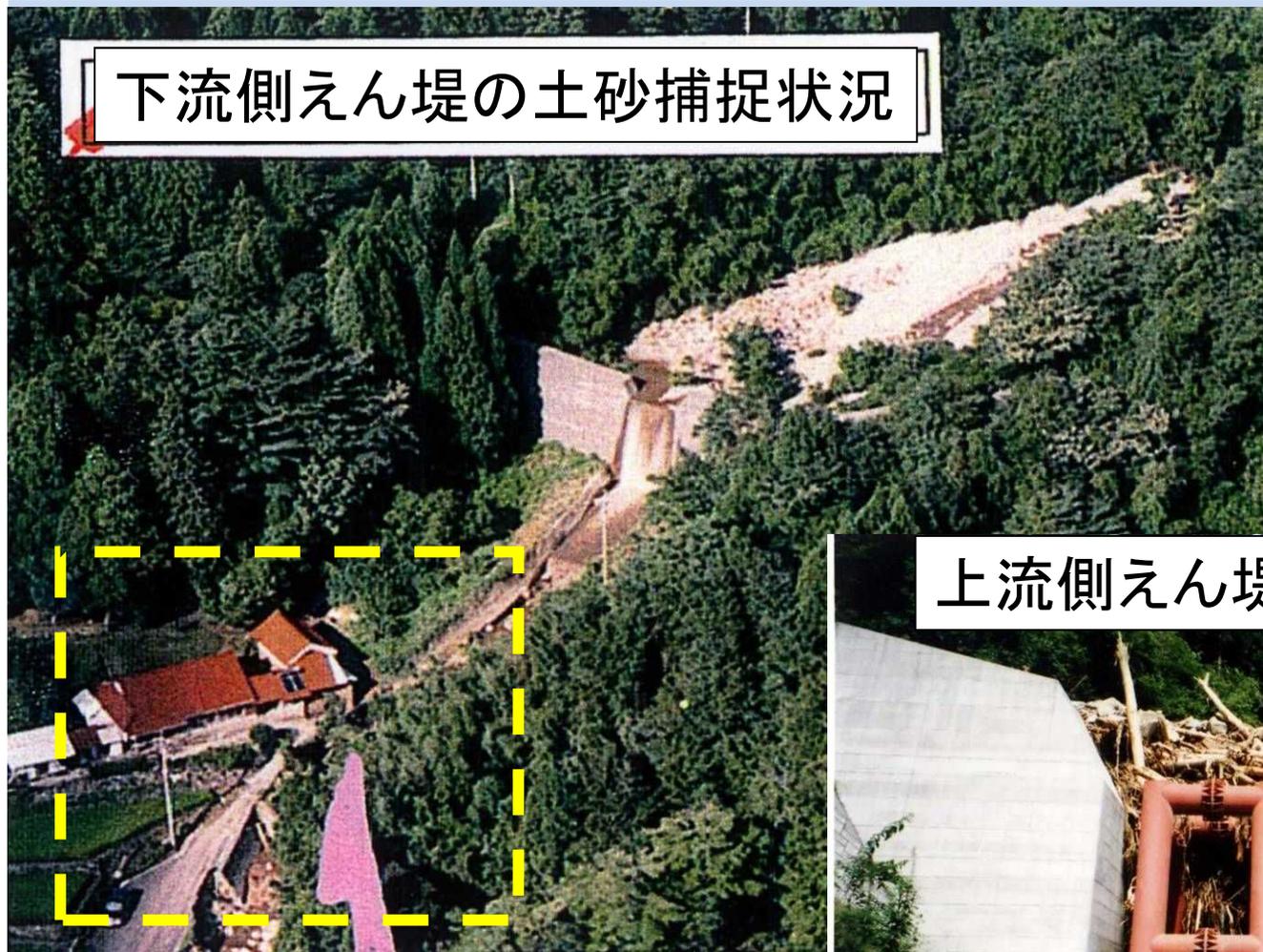
100m

200m



～ 砂防えん堤の整備による人家の保全 ～

下流側えん堤の土砂捕捉状況

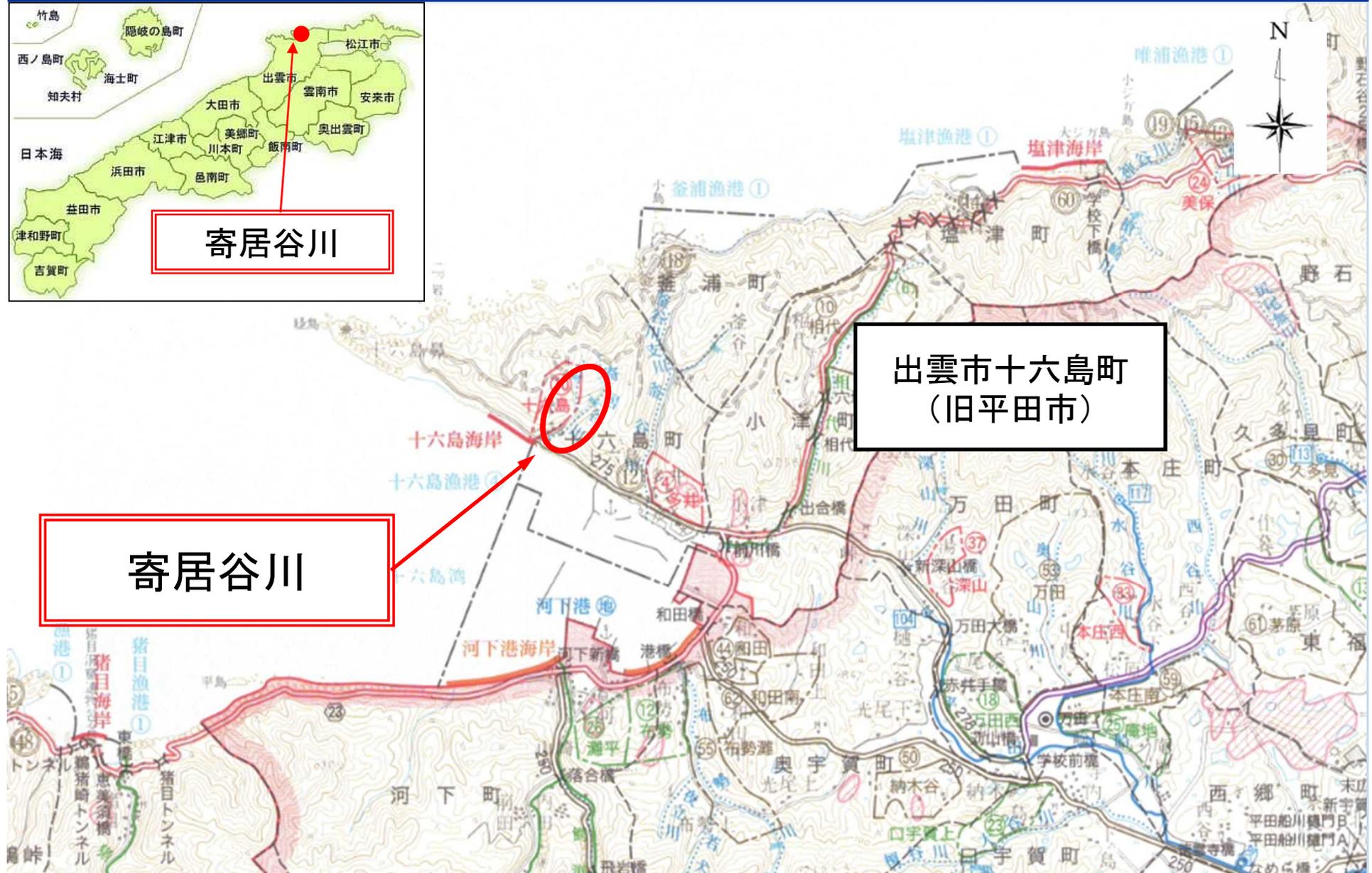


上流側えん堤の土砂捕捉状況

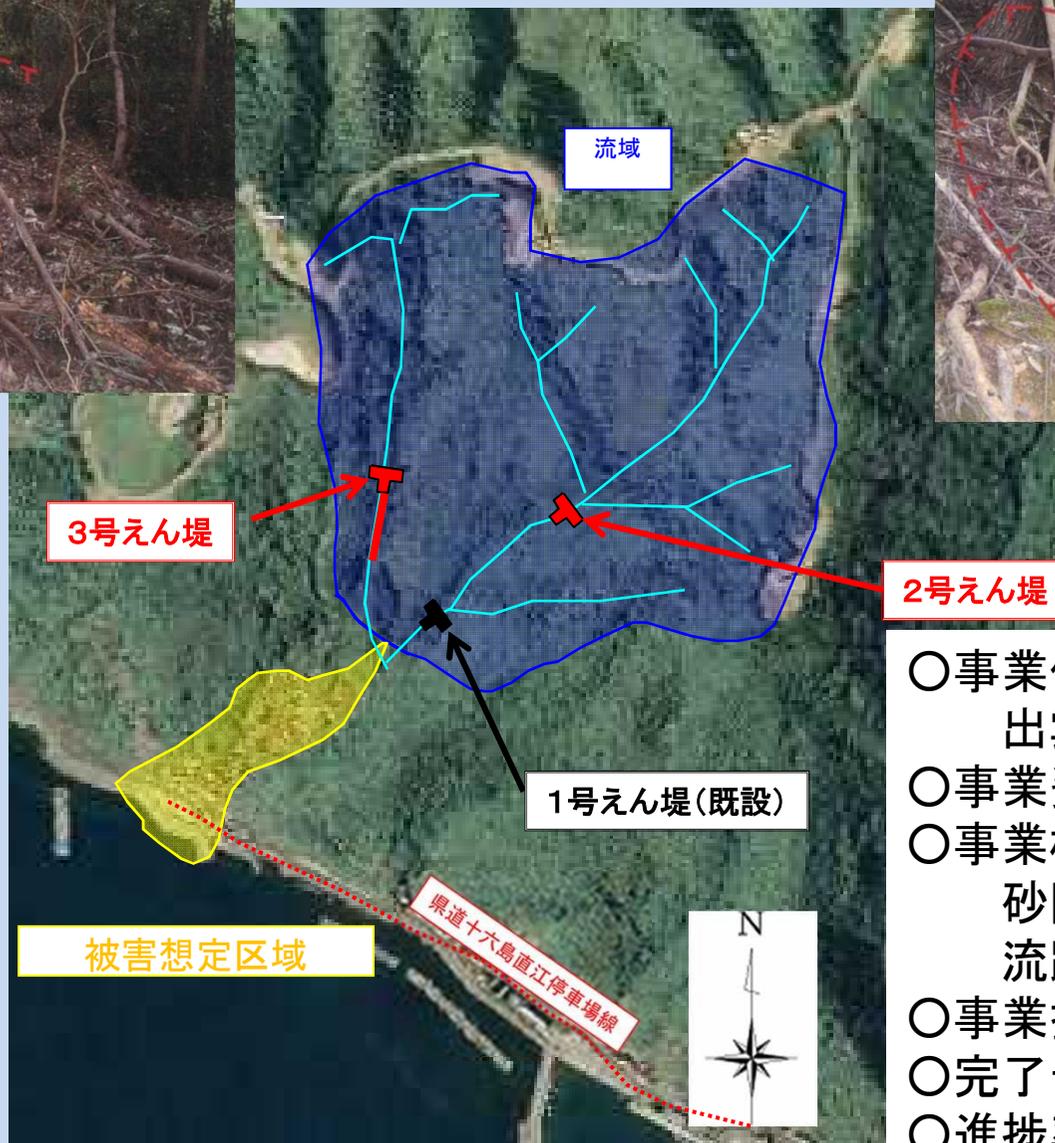


下流の人家を保全

より い だに がわ
⑤ 寄居谷川 通常砂防事業 ～ 位置 ～



⑤ 寄居谷川 通常砂防事業 ～事業概要・導入の経緯～



- 保全対象
- 人家 72戸
- 県道 50m
- 市道 260m
- 林道 80m
- 集会施設 2箇所
(内一時避難所 1箇所)

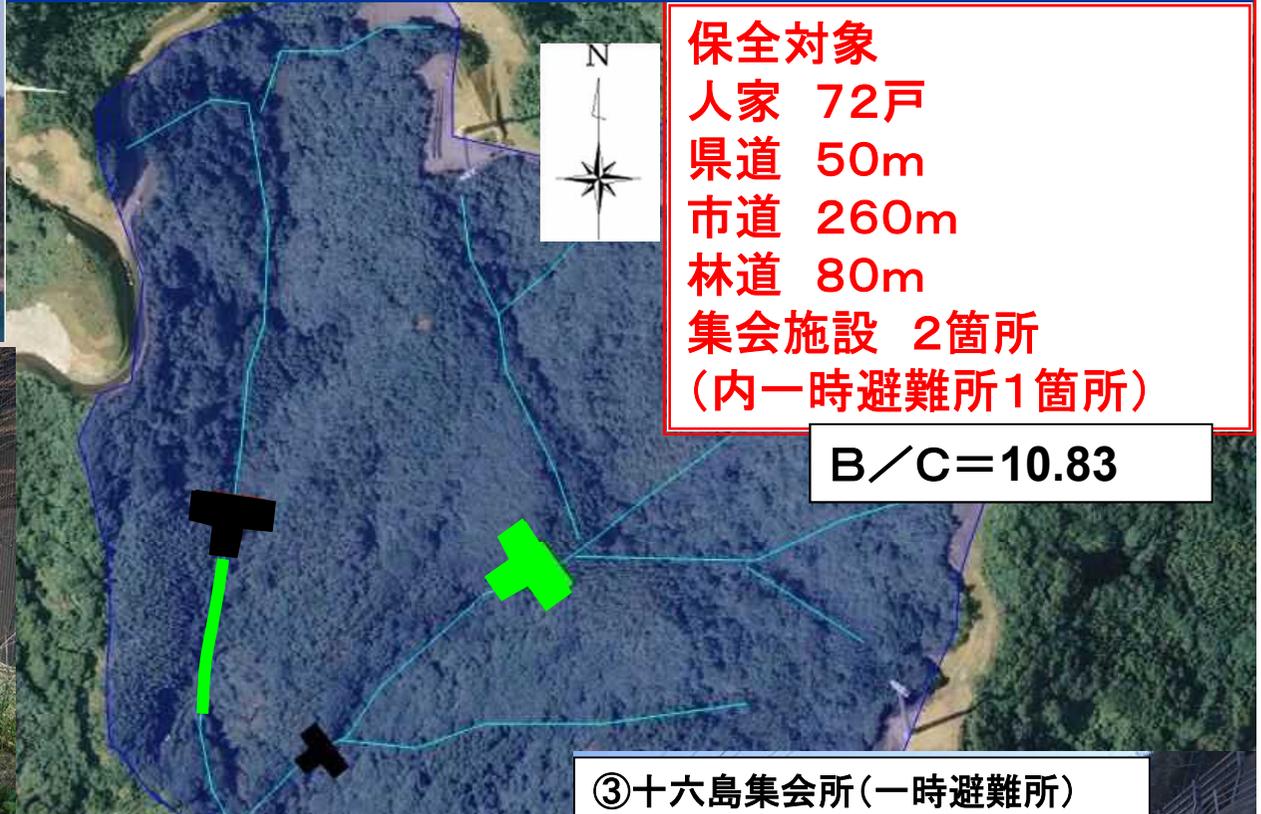
- 事業位置
出雲市十六島町
- 事業費 542,000千円
- 事業概要
砂防えん堤2基
流路工L=79.7m
- 事業採択年度 H14
- 完了予定年度 H31
- 進捗率 63%

⑤ 寄居谷川 通常砂防事業 ~保全対象について~

① 全景



② 保全対象(上流より)



③ 十六島集会所(一時避難所)



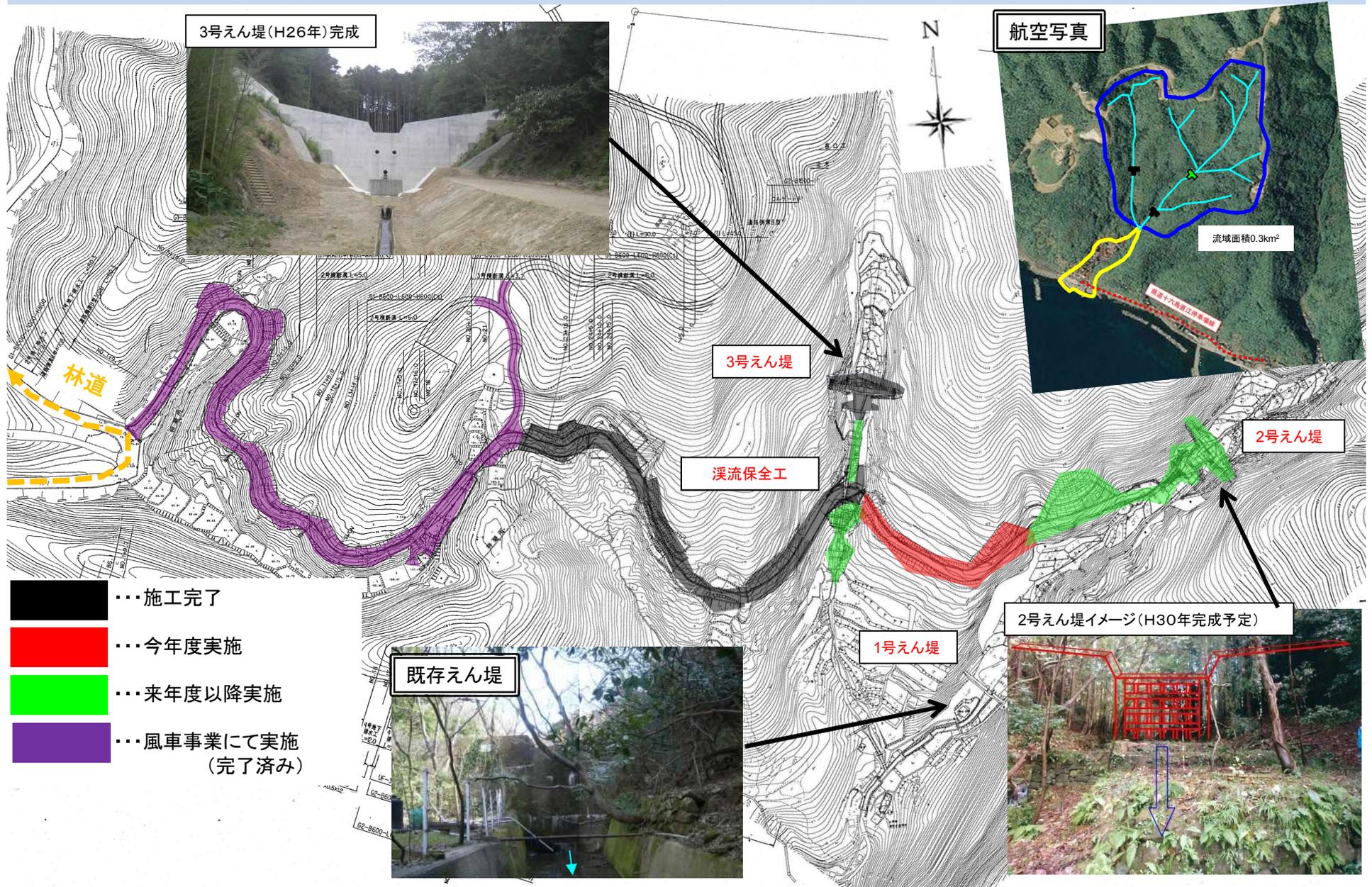
凡 例

- 道路
- 河川
- 被害想定区域
- 流域
- 1 → 写真撮影箇所



県道十六島直江停車場

⑤ 寄居谷川 通常砂防事業 ～事業の進捗状況～



⑤ 寄居谷川 通常砂防事業 ～事業の進捗状況～

全長約900m 幅員4.0m

風車約400m

砂防約500m

法面の崩壊

地すべり防止区域

支持層の相違

- ①風車事業との調整(平成16～18年度)
- ②延長の長い工事用道路
- ③法面崩壊等により工事用道路の施工が難航

～ 寄居谷川 通常砂防事業の継続について ～

1号、3号えん堤は完了しているものの、2号えん堤は完成していない状態であり、

土石流に対する捕捉効果は小さい



事業中止

土石流が発生した場合、

土石流を止めることができない

下流の人家や道路に甚大な被害